



図書館だより



2024. 11 伊丹市立東中学校 図書館

ふしぎ現象

勉強をしている時、友達と遊んでいる時、お小遣いをもらった時、『またこの現象?』と思ったことはありませんか? 実は、その現象たちには名前があるのです。

・ケータイが着信してブルブルしてると思ったら気のせいだった。それは…↓↓↓

ちょっと気はずかしいこの現象には『ファントム・バイブレーション・シンドローム(幻想振動症候群)』というカッコいい名前がついています。日頃からケータイの着信を気にしている人ほど振動に対して敏感になり、ちょっとした振動でも着信と勘違いしてしまうのです。そんな時は「ぼく、ファントム・バイブレーション・シンドロームなんだ…」と言えばおしゃれにごまかせるので、おすすめです。

・おばあちゃんの家和室の天井の木目が人の顔に見えて怖い。それは…↓↓↓

『シミュラクラ現象』天井だけでなく、どこにあるものでも「:」のような三つの点をずっと見ていると人の顔に見えますよね。これは人間の習性で「シミュラクラ(類像)現象」と呼ばれています。点が三つ集まり、逆三角形の形に並ぶと、顔であると認識してしまうのです。そうなる理由は、他人や動物の顔を見て敵か味方かをすぐに判断できた方が、生き残る可能性が高かったからでは…という説が有力になったようです。

このようなふしぎ現象をたくさん紹介しているこの本『大人も知らない?ふしぎ現象事典』は図書室に置いてありますのでぜひ読んでみてください!

《開館案内》

開館日時：昼休み

貸出冊数：1週間5冊

《おすすめの本》

『大人も知らない?ふしぎ現象事典』

「ふしぎ現象」研究会／編 マイクロマガジン社
テストの前の日になると部屋の掃除がしたくなる。本屋にいるとなぜかトイレに行きたくなる…。身の回りによくある現象や体の不思議な現象の名前を紹介。楽しいイラストや、ふしぎ現象コラムも掲載する。

『成瀬は信じた道をいく』

宮島 未奈 新潮社

知らぬ間に多くの人に影響を与えながら、我が道を通り進む成瀬あかり。幼馴染の島崎が故郷に帰ると、成瀬が書置きを残して失踪しており…!? 「成瀬は天下を取りにいく」の続編。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

『ふしぎ駄菓子屋銭天堂 1 吉凶通り』

廣嶋 玲子 偕成社

その駄菓子屋は、幸せと不幸のわかれ道。女主人・紅子が、きょうもお客さんの運命を駄菓子で翻弄する。「ナッシングミ」「向こう水」など、駄菓子屋「銭天堂」を舞台にした不思議なお話全8編を収録。

『ユニクロ』

杉本 貴司 日経BP

今では世界的なアパレル企業として君臨するユニクロ。地方のさびれた商店街の紳士服店は、いかにして世界企業に駆け上がったのか。その真実に迫る、膨大な取材に基づくノンフィクション。

『六人の嘘つきな大学生』

浅倉 秋成 KADOKAWA

成長著しいIT企業の最終選考。最後に残った6人に出された課題は、「1人の内定者を6人で決めること」。そんな中、6人それぞれの「罪」が告発された6通の封筒が発見される。彼らの嘘と罪とは。そして「犯人」の目的は…。

『5秒後に意外な結末 ミダス王の黄金の指先』

桃戸 ハル／編著 Gakken

恐怖、笑い、感動、風刺、ブラックユーモア…。

「ページをめくれば驚きの結末」×100話! イラストレーター usi の挿し絵とともに贈る、クセになるノンストップビジュアルショートノベルス。

内容紹介：ことば蔵 HP より

※紹介した本は全て図書室で借りられます。